

登倉尋実・岡田守彦・近藤四郎

第25回日本人類学会日本民族学会連合大会(1971)

- 2) 等尺性筋張力-筋電図振幅関係の筋長による差異について

岡田守彦

第25回日本人類学会日本民族学会連合大会(1971)

- 3) *Tupaia glis* の歩行様式について

岩本光雄・富田守

第16回プリマーテス研究会(1972)

- 4) マカクの染色体研究

平井百樹・岩本光雄

第16回プリマーテス研究会(1972)

- 5) マカクサルの寒冷血管反応

岡田守彦・登倉尋実・近藤四郎

第16回プリマーテス研究会(1972)

神経生理研究部門

時夷利彦・久保田競

二木宏明・松波謙一

研究概要

- 1) 前頭葉の機能の神経生理学的研究

時夷利彦・久保田競・二木宏明・酒井正樹¹⁾

岩本隆茂²⁾

前頭葉が関与している行動の一つである遅延交代反応をアカゲザルに学習させ、その時の前頭葉主溝部、尾状核、視床背内側核などのニューロン活動を解析して「行動の神経生理学的機構」を明らかにしようとしている。

- 2) 随意運動の発現機構の研究

1. 随意運動発現における運動野の役割

久保田競・弓矢治秀³⁾

筋からの情報を断った状態(後根切断)で音を条件刺激として手でバルーンをにぎるという防御条件反応を学習させ運動野の錐体細胞、非錐体細胞と筋活動の相関々係をしらべている。なお、関係する細胞活動がみられた場合、その部位で微弱電流を流しておこる筋運動をしらべ対応させている。

2. 眼球運動発現に関与する中枢機構の解析

松波謙一

自覚性および学習性の眼球運動(水平、垂直方向)と相関のある視床内、外部のニューロン活動の性質をしらべ、眼電図(EOG)とユニットとの時間関係から眼球運動に対して果たす役割を考えている。

¹⁾ 京都大学大学院生

²⁾ 日本学術振興会 昭和46年度流動研究員

³⁾ 京都大学大学院生

研究発表(1971年4月~1972年3月)

論文

- 1) Prefrontal cortical unit activity and delayed alternation performance in monkeys.

K. Kubota and H. Niki

[*J. Neurophysiol.*, 34: 337-347 (1971)]

- 2) Precentral cortical unit activity and jaw movement in chronic monkeys.

[In R. Dubner and K. Y. Kawamura(eds.)]

Kubota and H. Niki

Oral-Facial Sensory and Motor Mechanisms.

Appleton-Century-Crofts, New York, 365-379,

(1971)]

- 3) Saccadic eye movement and neurons in the central gray area in awake monkeys.

Ken'ichi Matsunami

[*Brain Res.*, 38: 217-221 (1972)]

- 4) Delayed alternation performance and unit activity of the caudate head and medial orbitofrontal gyrus in the monkey.

H. Niki, M. Sakai and K. Kubota

[*Brain Res.*, 38: 343-353 (1972)]

学会発表

- 1) サルの遅延反応時の視床背内側核と尾状核の細胞活動

久保田競・二木宏明・後藤昭・酒井正樹

第48回日本生理学会(1971)

- 2) On neuronal activities of prefrontal cortex, caudate nucleus and thalamic dorsomedial nucleus in rhesus monkey.

Kisou Kubota

In a symposium "The frontal granular cortex and behavior" organized by J. Konorski at Jablonna near Warsaw, Poland 2-6 August. (1971).

- 3) サルの随意運動とニューロン活動について

久保田競

シンポジウム「随意運動と脳活動」

第20回日本脳波学会総会(1971)

心理研究部門

室伏靖子・渡辺允子

浅野俊夫・小嶋祥三

研究概要

- 1) 霊長類における視覚・聴覚に関する各種絶対閾値および弁別閾値の測定

室伏靖子・浅野俊夫・渡辺允子